



渡邊 明 教授

## 献辞

二〇〇九年三月をもって人文学部法律経済学科の渡邊明教授が定年退職されます。

渡邊明教授は、札幌学院大学商学部助教授のち教授、四日市大学経済学部教授、埼玉大学経済学部教授を歴任された後、一九九八年四月本学部社会科学科に経営学総論の教授として赴任されました。温厚篤実な性格により学部構成員から愛され、研究において毎週励行された現場調査から優れた業績を残されるとともに、教育においても学部的一般学生とともに留学生院生に対して親身なお世話をされました。学生からの要望が多かった現場の方をお呼びした実践的講義を、ご自身の講義に積極的に取り入れられ、そしてその講義録は、この「法経論叢」に多数収録されています。

また先生は学部の枠にとどまらず三重大学大学院の文理融合型講義をコーディネートされるなど大学の実践的教育にも大きな貢献をされました。

先生はまた、多数の県下の自治体と共同研究プロジェクトをもたれ、地域への貢献の面でも、大きな成果を上げられました。先生が作られた地域社会とのネットワークは、学部の財産として受け継いでいく所存です。

先生はまた大学行政においても、二〇〇二〜二〇〇三年度に三重大学評議員の要職にあったほか、二〇〇一年度および二〇〇四年度〜二

〇〇五年度に社会科学科長を務められました。このようにオールラウンドプレーヤーだった先生は、地域社会のなかで学部の声価を高めるうえで大きな貢献をされました。

学部を代表して先生のご努力に敬意を表し、『法経論叢』二六巻二号を先生に捧げます。

二〇〇九年三月

三重大学人文部長 櫻谷勝美